

### 自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居される前の生活を大切に、入居後も地域社会とのかかわりを継続して行けるようにとの理念をかかげている。今後もスタッフ全員で話し合いながら、作り変えていくことも必要だと考えている。	
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	スタッフ会議時などに、常に理念を実践できるようにスタッフ全員で理念を具体的に話し合い、意見交換を行い日々のケアにつなげて行けるようにしている。	
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営理念は玄関ホールに見やすく明示して、入居時には家族に理念や目標を説明している。地域の方たちには開所した当初に、理念を具体的に話したことがあるが、その後は理念について話したことはない。	○  入居者の方たちが地域の中にとけ込んで暮らして行くことの大切さを地域の方に今以上に理解していただけるように、地域での催しに参加した時や、ホーム便りなどを利用し理解していただけるように取り組んでいきたい。
<b>2.地域との支えあい</b>			
	○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の住民の方達との交流会（五平餅交流会・敬老会）を開催したり、月1回手作りで作っている和菓子などを入居者の方たちと近隣の方たちに食べていただいたり、反対に野菜などを持ってきていただいたりして近所の住民のかたたちと交流を図っている。又散歩時などにも交流を図っている。	
5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事の生き生きサロンに毎月参加したり、老人会の集まりに声をかけていただき、地域の老人会の方たちと交流を図っているが全員の方が参加できない。	○  今後は全員の入居者の方が参加できるように支援体制を整えたり、もっと多くの地域の方たちを招いて交流をはかれると良いと思う。地域の子供さんたち（保育園児）との交流も図れるように、関係機関に働きかけていく予定である。

岐阜県、中津川ケアハートガーデン グループホームなかむらの郷

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>今後は地域の集まりに参加させていただいたときなどに、機会があれば経験を生かして、介護や認知症に関する話を地域の人たちに広めていきたい。</p>
<b>3、理念を共有するための制度の理解と活用</b>			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	<p>評価後にはスタッフ全員で話し合い一つ一つ改善に取り組んでいきたいと思っている。</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	<p>次回運営推進会議の場で、評価の内容について報告し、会議とサービス評価を結びつけていくようにしなくてはと思っている。</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	○	<p>今後は困難事例などに直面したときには、市町村の担当者と協議を行いながら、問題解決に向けた取り組みが出来るように働きかけるようにしたい。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		

岐阜県、中津川ケアーハートガーデン グループホームなかむらの郷

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
<b>4. 理念を実践するための体制</b>				
12	○契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書面を見ながらは細かく説明を行い、理解を していただいていると確信している。 契約更新時や契約に変更があったときは再度説明 を行い、家族の方にも内容の確認をもう一度行っ ていただくようお願いはしている。		
13	○運営に関する利用者意見の反映  利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々、スタッフは一人ひとりの思いや、願いを受 けとめ、全員で共有し入居者の思いを大切にしてい けるように取り組んでいる。不満や苦情について も口頭や書面でも受付できる様にしている。介 護相談員の派遣は開所以来1回もなく、利用者の 立場にたつての意見は頂いていない。		
14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	面会時に入居者の方の状態の報告を行ったり、電話での連絡を 常に行い、家族と連絡を取っている。又、報告の内容を記録に 残している。金銭の管理についても面会時や月に1度は確認を していただいている。職員の異動については、家族の方が行事 に参加されたときや面会時に行っている。2ヶ月に1回のホーム 便りの内容だけでは日々の生活の様子が伝わらないのではない かと思う。	○	現在はホーム便りは2ヶ月に1回であるが、今後 ホーム便りの内容をもう少し具体的にして、月に1 回は発行して、家族に送付し日々の生活の様子を 伝えていきたい。職員の異動時にはホーム便りも 利用して報告を行いたい。又入居者の写真の送付 もして行きたい。
15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関先にご意見箱を設置したり、苦情受付担当者を掲示板 に明示し、意見や不満、苦情を受け付ける体制は整えて いる。苦情対応マニュアルやチャートも作成しスタッ プ全員で共有している。又、運営推進会議で出た意見や 要望などは、スタッフで会議後に話し合い、内容によっ ては家族の方に出席していただいてケアカンファレンス を開催し、対応している。		
16	○運営に関する職員意見の反映  運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	個人面談時、スタッフ会議の場、改善提案書で意見 や提案を聞けるように努め、反映できるように 努めている。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整  利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	日々の状況により、常に対応できるよう管理者は 通常のシフトに入らず、対応している。又必要に 応じて派遣社員による対応も行っている。		

岐阜県、中津川ケアーハートガーデン グループホームなかむらの郷

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	会社全体で職員の安定化に繋がるように努力している。又、離職があった時は、入居者にダメージが及ばないように新入社員には、幅広い内容で1ヶ月間の研修を行い、その中で引継ぎの期間を十分取り、利用者さんや家族にきちんと紹介するなどの対応をしている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19 ○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スタッフ全員が研修を受けれるように年間計画を立てて、内外の研修を行っている。また、会社全体で12ヶ所のGHが集まり、管理者は年6回、他のスタッフは年数回の研修が計画されており、参加して知識や技術を身につけている。		
20 ○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	開設当初から地域内の同業者と交流を図り、他のグループホームの運営推進会議の見学の受け入れや、意見交換を行ったことがある。、又他のグループホームの見学やスタッフの研修の受け入れも行っている。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	スタッフのストレスを溜めないように、全員がお互いに良き相談相手になれるように信頼関係づくりに勤めている。休憩を取れる部屋も確保しておりスタッフ同志協力をしあいながら、休憩を取っている。又年に数回慰労会などを行っている。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	自己管理目標シートにより、個々の目標を立てて入居者の方の生活を支えていくようにしており、個々の目標については、定期的に他のスタッフの意見を求めたりして取り組んでいる。取り組みについての努力や実績については会社全体で評価できる仕組みになっている。		

岐阜県 中津川ケアーハートガーデン グループホームなかむらの郷

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係  相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居の相談があった時点からホームを見学していただいたり、自宅に出向き身体状況や思いなどを事細かに聞き取り、信頼関係を築けるように努力している。入居前に3回位は事前面談を行うようにしている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係  相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居の相談があった時点からホームを見学していただいたり、自宅に出向いて家族の思いを聞き取り、信頼関係を築けるように勤めている。入居までに3回位の事前面談を行っている。また、家族の思いや願い、要望を文書でも頂き、ホームの方針なども伝え信頼関係を築けるように心がけている	
25	○初期対応の見極めと支援  相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時の聞き取りの中で、まず事業所としての考え方や方針を伝え、柔軟な対応を行い、何回か相談を繰り返しても困難と判断した場合は、担当のケアマネさんと連携をとり、他のサービスにつなげていけるように対応している。	
26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	全員の方ではないが、入居希望があった時に、ホームで数時間過していただいたこともあり、安心して入居していただけるような配慮はしている。今後も希望があれば徐々に馴染んでいただけるようにしていきたい。	○  今後希望があったときには、もう少し長い時間ホームで過ごしていただいて、馴染んでからサービスを開始できるように工夫したい。
27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一人ひとりの人格を尊重し、お互いに支えあうということを理念に掲げ、常にスタッフ全員で入居者の方がどう暮らしたいかというところを大切に、入居者の方が少しでも自立した生活が出来るように支援している。又人生の先輩であり、スタッフは色々なことを学ぶことが多い。	

岐阜県、中津川ケアーハートガーデン グループホームなかむらの郷

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の方に協力していただけたところは、ケアプランの中に取り入れ、外出支援、入浴支援、自宅への外泊などの協力をいただいている。ケアカンファレンスに家族の方に参加していただくようお願いしているが、無理な家族もあり、面会時などに話し合いの場を持ち、思いや希望を頂いている。	○	家族の中には、入居後関わりが少なくなり、家族との連携がうまく取れない事があるため、今後はこちらからも働きかけを行い、家族の方と連携が取れるようにし、家族の方と一緒に支援していきたい。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家庭との結びつきを重視し入居時には家庭の状況などを聞き取り、可能な限り面会に来ていただけるようお願いをしている。家族の方が長い間面会に来られない時は入居者の方からやスタッフが自宅に電話をかけて思いを伝えるなどの支援を行っている。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居時のアセスメントで把握し今までの生活を維持できるように、本人の思いや、願いを聞きながら、地域内での催しの生き生きサロン・高齢者大学などに参加できるように支援している。又、行きつけの美容院や喫茶店などにも出かけ、地域の方たちとの交流を図っている。又ホームにも知り合いの方たちに来ていただけるように働きかけている。		
31 ○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	お互いに支えあうことを大切にし、皆で楽しく過ごせるようにスタッフ全員が支援しているが、その日の気分や感情でうまくいかない時もあり、スタッフでうまくいくように働きかけたり、家族のかたのアドバイスをいただきながら皆さん全員が、楽しく暮せるように支援している。		
32 ○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	開所して間もないために契約の終了した方はいないため取組んではいない。	○	今後契約終了者があった場合は、経過を見ながらフォローして行けるようにしたい。

岐阜県 中津川ケアハートガーデン グループホームなかむらの郷

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	私たちは「24時間365日その人らしく暮らしていただく」ことにこだわり、入居者の一人ひとり思いや、願いを大切にし、又、思いを伝えられない方もみえるが、スタッフは一人ひとりの心を見るケアを心がけ、本人の意向の把握に努め、ケアカンファレンスで話し合い、ケアにつなげていけるように勤めている。	
34	○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居の申し込み時から、今までの生活歴や環境を家族やご本人から聞き取りアセスメントを行いスタッフ全員で共有している。又入居されてからも日々の会話の中でも把握し、ケアにつなげていけるようにしている。	
35	○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入居の申し込み時から、今までの1日の暮らし方や心身状況を把握し、入居後も有する能力や、できること、できないことを把握し情報をスタッフ全員で共有し、自立した生活ができるように支援している。	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	個別の介護計画を作成するために、本人や家族の希望や思いを聞き取り、ケアカンファレンスを開き課題やケアのアイデアをスタッフ全員で出し合い介護計画の原案を作成し、本人や家族の理解を得ている。家族の方もケアカンファレンスに出ていただくようお願いしているが、出られない方が多く、書面を出していただき計画を作成している。	○ 困難事例については家族の方のケアカンファレンスへの参加をお願いし、ケアプランに反映させているが、全員のかたではないため、今後は全員の家族の方に参加をお願いしていきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月のケアカンファレンスでモニタリングを行い、設定した期間には必ずスタッフ全員で評価を行っている。月に1回のケアカンファレンス以外にも変化が生じた時には、見直しをおこなうようにしている。	

岐阜県 中津川ケアハートガーデン グループホームなかむらの郷

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録に日々の様子やケアの実践を記録し、特にスタッフの気づきは赤線でアンダーラインを引きスタッフ全員で共有し、介護計画の見直しに生かしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	個人的な外出の支援や病院への受診時の通院介助サービスを行っており、入居者や家族の方の要望に柔軟に対応するように努めており、今後も引き続き行っていきたい。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40 ○地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	入居前からの生活を継続できるように、地区の民生委員さんや、知人の方たちが時々尋ねてきてくださり、地域内の催しなどに誘ってくださる。又ボランティアさんによる訪問もお願いしている。消防署とは、講習や訓練などで協力をしていただいているが、警察との協力はできていない。	○	もっと多くの機関と協力していく必要がある為、今後は色々なところに働きかけていきたい。
41 ○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	市内の公民館で行われている高齢者大学に毎月参加され、月ごとの色々な催し物に参加される。又月に2回位弁当の配食サービスを受けている、		
42 ○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	包括支援センターのケアマネジャーさんとは時々情報交換を行いながら、支援している。又、社会福祉協議会が行う福祉サービスの契約を行い利用できるように支援している。運営推進会議での場でも職員と情報交換を行っている。		



岐阜県 中津川ケアハートガーデン グループホームなかむらの郷

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にご本人や家族の要望を聞きながら、希望があれば協力医療機関への依頼を行っている。医療機関については自由に決めていただいている。複数の医師と連携を図りながら、往診や通院が受けれる体制になっている。又提携医療機関の先生とは24時間相談することができ、指示や場合によっては往診もお願いできる体制になっている。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援  専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症専門医の受診の必要な方には家族や主治医の先生と相談し、認知症専門医に受診を依頼し助言を頂いたことはあるが、ホームと提携している内科医の先生も認知症については常に相談にのってもらいながら、治療もしていただいている。		
45 ○看護職との協働  利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	職員に准看護師の有資格者がいて、24時間対応できるようになっており、かかりつけ医の看護婦さんにも相談しながら健康管理を行っている。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働  利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には、ご本人の情報を医療機関に提供し、医師や病院関係者との信頼関係を築けるように勤めている。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	事業所として重度者や終末期の人のサービスをどうするか支援指針をまだ、はっきりと決めていない。	○	今後は重度化した場合、利用者や家族の要望に出来るだけこたえられる様に、利用者や家族、スタッフ、主治医との話し合いの機会を作り、利用者や家族の方に安心して暮して抱けるように、取組んでいきたい。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援  重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	事業所として重度者や終末期の人のサービスをどうするか支援指針をまだ、はっきりと決めていない。	○	今後は重度化した場合に利用者や家族の希望に添えるように、スタッフの終末期についての理解や医療の知識が得られるように、さまざまな研修を行い、取組んでいける体制を整えたい。

岐阜県 中津川ケアーハートガーデン グループホームなかむらの郷

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	開所時より現在までに住み替えはないが、住み替えがあった場合には十分に配慮する。	○	住み替えがあった場合にはリロケーションダメージを最小限にするために、生活環境や支援の内容などの情報の提供を行い、今までの生活が継続できるように支援していきたい。
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>				
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>				
50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の保護については、スタッフ全員が一人ひとりの尊厳と権利を守るために、具体的に学ぶ機会を何回か持ち、事業所全体で徹底している。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	スタッフ全員が認知症について学び、一人ひとりに合わせた声かけを行い、本人が自己決定できるように工夫しながら支援している。。意思表示できない方は、思いや願いを汲み取れるように心がけ、スタッフ全員で情報を共有し支援している。		
52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居時にアセスメントを行い、その人の思いや願いを受け止め、スタッフ全員で情報を共有し、一人ひとりのペースを大切にされた個別ケアに勤めている。又その人らしさを保てるように常に話し合い支援している。決して無理強いしないようにしている。		
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>				
53	○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	家族に協力をいただながら身だしなみやおしゃれが楽しめるように支援している。理容・美容院は入居前の行きつけの所に行ったり、ホームに来ていただいている。家族の方と一緒にいられる方や、スタッフが同行することがある。		

岐阜県 中津川ケアーハートガーデン グループホームなかむらの郷

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>会話の中から入居者の方々の好みの食事を聞き献立に取り入れ、食事作りは生活リハビリと考え、一緒に食事づくりや片付けを行うことを大切にしている。得意な献立があると、その方が中心となって楽しみながら調理され、スタッフが教わることもある。</p>	
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの好みを把握し、希望を聞き入れながら楽しんでいただけるように心がけている。又身体の状況に合わせ、食事、おやつの形態も変えている。今現在タバコを吸われる方はいないが、今後入居された場合は対応していきたい。。お酒についても飲んでいただいても良いことにしている。(毎日は飲まれないが催し物がある時は提供している。</p>	
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>トイレ介助の必要な方には、一人ひとりの排泄パターンを把握し、その時々状況を見ながら、トイレ誘導を促したり、見守りや介助を行っている。</p>	
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>現在は午後の時間帯に入浴を行っているが、中には夕食後に希望される方が時々あり、対応したこともあるが、毎回は対応できない(スタッフが一人の時は対応できない)。希望があれば毎日入浴していただくこともある。入浴時はその人のペースに合わせて入浴していただいている。</p>	<p>○</p> <p>将来的には夜間入浴も取り入れていく必要があると思う。</p>
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの習慣を大切に、その方のペースで休息していただいている。又夜間も気持ちよく休んでいただけるように、スタッフ一人ひとりが心がけ、眠れない時は一緒に話を聞いたりし、心穏やかな気持ちになって休めるように支援している。</p>	
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>一人ひとりの得意な事や好きなことを自由にやっていただいております、喜びや生きがいを感じていただいている。(料理・生け花・短歌・折り紙・塗り絵・野菜の収穫・散歩・喫茶店・外食など)又月に1回和菓子を入居者の方の指導を受け作っている。指導してくださる方も楽しそうである。</p>	

岐阜県、中津川ケアーハートガーデン グループホームなかむらの郷

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60 ○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自分で管理できる方は、常に所持してみえ、希望のものは自由に買い物などをされる。又小額を管理してみえるかたもあり、買い物をスタッフに依頼されたりもする。ホームで管理している方でも外出時には自分で払っていただけるように支援している。		
61 ○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩は日課に取り入れて気分転換を図っていただいております、希望時は自宅まで行ったり、喫茶店や理・美容院にも行ける様に支援している。月に2回は外出し買い物にいけるように支援している。又、天候や気分を配慮し出来るだけ屋外に出られるように心がけている。		
62 ○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	特別な外出支援についてはまだ実現していない。以前希望を聞いて、お墓参りの計画を立てたが実現できなかった（ご本人の思い違いで、お墓の場所が遠方だった） 家族の協力で温泉や旅行に行っていたかたもある。	○	今後は会話の中から本人の思いや願いを聞きだし、一人ひとりに合わせた外出の支援をしていきたい。スタッフの支援体制も整え支援出来るようにしていく。
63 ○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	個人で電話を持っている方もあり、いつも家族や知人と電話でのやり取りをしてみえる。その他の人も希望時は自由にかけるように支援してい、自分からされない人にはさりげなく声かけをしている。手紙については一部の人であるが、やり取りをしてみえる。又ボランティアさんにお礼の手紙を書いていただくように支援している。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会は自由にしていただけるように時間はきめていない。又面会者の方が気兼ねなく過ごしていただけるようなスペースもあり、訪問時にはお茶などの接待も必ず行っている。又スタッフはビジネスマナーの研修を受け、居心地良く訪問して頂けるように心掛けている。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	スタッフ全員で話し合いの場を持ち、身体拘束について正しく理解し、身体拘束をしないケアを行っている。		

岐阜県 中津川ケアーハートガーデン グループホームなかむらの郷

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は入居者の方に自由に暮らしていただけるようにしてあり、自由に出入りが出来るようになっていたため、スタッフ同士常に声を掛け合い入居者の方々を見守っている。外に出ていこうとされる時はさりげなく付き浴えるようにしている。		
67 ○利用者の安全確認  職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	スタッフ同士常に声を掛け合い、入居者の行動をさりげなく見守り、安全確認を行っている。日中は必ずスタッフが入居者さんと共に過ごし見守っている。夜間も一人のスタッフで見守りを行い安全確認を行っている。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理  注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬剤や刃物などは鍵のかかるところに所に保管し、洗剤などはその時々状況にあわせ、スタッフで話し合いながら危険を防げるように工夫している。		
69 ○事故防止のための取り組み  転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	リスクについてはヒヤリハット等により今後の対応策をミーティングで話し合い事故防止に努めている。又、事故報告書については会社全体で共有し再発防止を徹底している。リスクマップを作成しスタッフ全員で事故防止に取り組んでいる。転倒や誤飲については日々のケアの中に体操や運動を取り入れている。		
70 ○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時に対応できるように、入社時に講習を受けているが、今後も全員のスタッフが年1回は受けるように計画をしている。又医療の知識も学ぶように研修などに参加している。	○	今後も、緊急時に対応できるように、専門家の指導が受けられるように計画していきたい。
71 ○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時に備えてマニュアルやチャートを作成し、スタッフ全員にわかるようにしている。総合避難訓練を10月に行うように準備中である。又近隣の住民の方たちにも協力をお願いし、連絡網を作成している。	○	災害に備え、災害防災訓練を何回か行うように計画を立てて、身につけていきたい。

岐阜県、中津川ケアーハートガーデン グループホームなかむらの郷


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	○	一人ひとりに起こりうるリスクについては、入居者の家族全員とは話し合っていないため、今後は一人ひとりのリスクを予測し、家族と対応策などについて話し合っていくことが必要である。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	○	スタッフの病気に対する知識を更に高められるように、専門家の研修を計画し、早期発見に繋げたい。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	○	スタッフの薬に対する知識を高めるために、医師や薬剤師による研修も計画したい。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている		栄養については、バランスよく摂取していただけるように、献立を立て、会社内の栄養士のアドバイスも受けれるようになっている。水分については個々の状況に応じて対応している。必要な方には、水分の摂取量をチェックしながら対応している。

岐阜県、中津川ケアハートガーデン グループホームなかむらの郷

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78 ○感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症については、専門家の研修を受け、スタッフ全員が感染症を予防するように、手洗い、うがいを毎日行うなど予防に心がけている。又、マニュアルも作成しスタッフ全員で共有している。		
79 ○食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所の衛生管理については、食中毒などについての研修を受け、全スタッフが理解しており、毎日掃除や消毒を行って、衛生管理を徹底している。食材についても賞味期限や開封後の管理もきちんと行い、購入は日曜日以外1日分だけ購入し、スタッフ全員が管理に努めている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>			
(1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りには、植木や季節の草花を植え、出入りしやすいようにしている。建物の周囲には植栽の予定がある。	○	今後はもっと親しみがもてるような工夫をしたり、沢山の花を植えたりして親しみやすい雰囲気を作りたい。
81 ○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快な音や光には、常に注意を払い、ホーム内には皆さんが趣味を生かした作品の生け花や、短歌、折り紙、塗り絵、などを展示し、生活感や季節感を感じていただくようにしている。また、季節の行事を計画し、行事ごとに皆さんとホーム内を飾るなどの工夫をしているが、今以上に出来ることはないかと常に工夫している。		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホーム内には食堂以外に、ソファを2箇所、玄関先には腰掛を配置し皆さんが好きところで過ごしていただけるようにしている。またベランダも設置しており、自由に過ごしていただけるようになっている。	○	今以上に、思い思いに過ごしていただける空間作りに心がけていきたい。

岐阜県、中津川ケアーハートガーデン グループホームなかむらの郷

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	<p>居室には、自宅で使ってた家具などを自由に持ち込んでいただき、入居による環境の変化を減らしていただけるように家族の方をお願いしたり、スタッフが常に工夫している。。入居者の中にはご主人の位牌を持ってみえる方もあり、毎日おまいりもされている。又、家族の方が泊まれるように布団も持ってきてみえる人もある。</p>		
84	<p>各居室はロスナイ換気扇により24時間換気を行い、居室以外の各所は換気扇を、ホールには空気清浄機も設置し、温度・湿度・換気についてはスタッフ全員が常に気を配り、利用者の状況に応じ、快適な環境で生活ができるように配慮している。又、自然の風も取り入れるなどの配慮もしている。</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>廊下、浴室、トイレには手すりを付け、居室内は入居者の方に合わせて、手すりなどを取り付け、自立した生活ができるようにしている。</p>	○	<p>今後は身体機能の低下が考えられるため、一人ひとりの状況にあわせ、危険を防げるような工夫をしていきたい。</p>
86	<p>認知症による誤認や混乱を招かないように、便所と表示したり部屋の入り口には名前をわかり易く書いて貼るなどしている。</p>		
87	<p>建物の前には畑があり、入居者の方々が、野菜の収穫を楽しまれる。又ベランダや、中庭には芝生も植えてあり、屋外で過ごすこともできる。</p>		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

岐阜県 中津川ケアーハートガーデン グループホームなかむらの郷

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者の方々に、入居後も自宅での生活と同じように暮らしていただけるよう、入居者の方々のペースに合わせ、決して無理強いせず、又思いや願いを大切に、一人ひとりの心をみるケアを心がけています。  
スタッフ同士が信頼関係を築き、スタッフが常に心穏やかに、入居者の方々と接していけるように心がけています。